

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6 年 2 月 21 日

事業所名 たんぽぽクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15	5		・定められたスペースに定員20名を下回る事が多い。 ・相談室の使用、カーテンで区切る、希望はもっと広く。	・一人あたり4㎡の基準は守られている。 ・相談室は指定基準から外れるので指導訓練室としての利用不可となっている。 ・更衣室などカーテンの仕切りを見直していく。
	②	職員の配置数は適切である	10	8	2	・一人で三人は無理があると思います。 ・希望はもっと多く。	配置基準は上回っている。更に今年度は児童指導員を2名増員しました。 ・児童の特性を配慮しやすいグループにして安全に支援が行えるようにしていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	8	2	・指導室に段差は無い。 ・バリアフリーを必要とする児童が不在。	床についてはフラットな状況。現在車椅子の子どもが在籍していない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	6			毎日の報告・聞き取りにより振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	4			毎年評価表アンケートを実施し、改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	5	1		ホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13	5	2		現在、第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	19	1			年2回の引き取り訓練終了後に実施。その他必要に応じてスタッフ研修を行っている。
適切な 支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	17	3			半年ごとにモニタリング、保護者面談を実施し、支援会議を行って作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	6			新会員に実施。在籍児には半年ごとに実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	7			非常勤を含めると、時間の確保が難しい。常勤スタッフから意見を吸い上げまとめている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	5	1	・見通しが持てるように、ある程度の固定化はしている。	曜日によってプログラムを変更している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
援 の 提 供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	17	3		・今年度は遠足を実施した。	長期休暇中に長い時間の外出が行えるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	18	2			個々の特性に配慮し、活動を組み合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	12	7	1		常勤職員は打ち合わせを行い非常勤スタッフに申し送りができるようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17	3			毎日、支援終了後の報告・意見交換を行い、特記・ヒヤリハットを業務日誌に記載し、共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	20				担当した子どもの記録を個人ファイルに記載して、職員がチェック、検証・確認を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	16	4			半年ごとにモニタリングを実施。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	15	5			ガイドライン全スタッフに配布している。体力、想像力、生活力等、多方面から支援している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	17	3			精通したものが参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	18	2			必要に応じて学校と連絡をとっている。年間行事等は保護者を通じて受け取り送迎の確認を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	9	1	・現在医療ケア児の在籍なし。	医療的ケアが必要な児童が在籍しない。てんかんや服薬がある児童については保護者と通じて処置方法を確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	13	7			子ども発達支援センター・乳幼児親子教室と連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	12	8			必要であれば保護者を通じて情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	11			新入所児の在園している機関を訪問して助言を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	10	4	・コロナ後は機会が難しい。 ・近隣の公園で接する機会はあるが、交流活動はない	外遊び活動の時は近隣の公園で交流をもつ機会がある。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	10	9	1		情報収集に努めるよう努力している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	18	2		・連絡帳・送迎時の会話。	日々の連絡帳や、通信、ニュースレターで子どもの様子を伝えている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	10			必要に応じて事業所内相談支援を案内、または直接対応している。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16	4			変更がある時は説明を行っている
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18	2			電話相談や事業所内相談支援等、気軽に立ち寄っていただける環境を整えている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	16	4			コロナ禍で開催が縮小されているが保護者会存続を維持している。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	17	3			周知徹底し記録に残している。迅速適切な対応を心がけている。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	20				通信、ニュースレター、ブログ等で発信している。
	㉘	個人情報に十分注意している	19	1			個人情報保護法に則っている。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18	2			面談、連絡帳、送迎時等で意思のずれがないようにしている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17	3			特別支援学校教諭の方々や学生のボランティアの受け入れを行っている。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	17	3			マニュアルを策定し配布している。各マニュアル毎の研修を年1回以上行っている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	20				避難訓練を定期的に行っている。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18	2			虐待防止マニュアルにそった研修を行っている。
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	17	3			施設の方針を定め、対象者、保護者に説明し個別支援計画に記載している。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	6	1	・対象児童がいない。	保護者を通じて確認している。現在対応児が在籍していない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18	2			毎日の報告・聞き取りにより事例集を作成し共有している。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。